

国際化学肥料ニュース (2021年8月)

肥料業界の2021年8月動態

* 8月第1週の尿素国際相場が下がり続けている。これは3週間連続の低下である。西半球では、特にブラジルの買手が市場から一步後退して、投機的な輸入契約を減らしてきた結果、CFR 価格が7月末より25ドル/トンも安くなり、460~470ドル/トンに低下した。アメリカも週の初め頃 FOB Nola が400ドル/トンまで低下したが、安値に惹かれ、買手が市場に戻ったため、週の後半に価格が戻ってきた。

東半球では、インドネシアが9月出荷分の8.5万トン大粒尿素的の FOB 価格が457ドル/トンで契約され、1ヶ月前の契約価格より約20ドル/トン下がってきた。但し、中国政府が尿素的の輸出自肅要請を出して、一部の新規輸出商談がストップしたが、多くの中国サプライヤーが契約済みの尿素的を輸出し続ける。したがって、8~9月の中国尿素的輸出には大きな変動がなさそうである。インドは今後数週間に尿素的を求めて、再度の尿素的国際入札を行う可能性があり、尿素的相場を押し上げる要因が残っている。

* 中国政府の化学肥料輸出を自肅し、国内供給を重視する要請に応じる形で、中国農業生産資料流通協会、中国窒素肥料工業協会、中国りん肥複合肥料工業協会、中国無機塩工業協会加里肥料分会、中国五鉍化工輸入輸出商会の5つ組織が声明を發表し、所属メンバーに化学肥料の輸出を減らして、国内供給を優先するよう要請する。

* 7月中旬以来の硫安の国際相場は尿素的相場の下落と逆に引き続き堅調さを保っている。最大硫安輸出国中国の FOB 価格が6月に比べ約20ドル/トン上昇した。その理由は中国のカプロラクタムメーカーが主に7~8月に定修を行う計画があり、カプロラクタム生産ラインの稼働率が55%に低下する可能性がある。

一方、需要が旺盛で、ブラジル、ベトナム、インドネシア、タイなどは多くの硫安を求めて、過去1年間、供給は需要に追いつくことができなかった。2020年6月中国の硫安 FOB 価格は90~100ドル/トンであったが、2021年1月に115ドル/トンで始まり、8月上旬に210ドル/トン近く要求され、この数年間の最高値である。

ただし、尿素的市場が軟化した今、尿素的に合わせて硫安価格は急激に低下するリスクがある。ブラジルの尿素的は過去3週間ですでに35ドル/トン下がっている。硫安価格もそれに追って下がる可能性がある。

* 8月第2週の尿素的国際相場が引き続き下落した。高値を警戒して、ほとんどの地域では尿素的の打診があるが、実際に契約まで進んでいない。中国尿素的は、オフシーズンの国内市場が非需要期に入ったうえ、尿素的生産量の増加と相まって、FOB 価格が450ドル

／トン以下に下落した。中国と中東のメーカーは、インドの最新の尿素国際入札の発表を待ち続けている。インド RCF 社が 8 月下旬に今年 6 回目の尿素国際入札を行う噂がある。

一方、西半球ではアメリカ市場では 8 月第 1 週に FOBNola400 ドル／トンまで下がったが、第 2 週に 430 ドル／トンに回復し、ブラジルも CFR472 ドル／トンに上昇した。但し、ロシアと北アフリカの尿素輸出が西側市場の低迷で圧力を受け、FOB 価格がやや下がった。

- * 中国統計局の公式統計データによれば、2020 年中国化学肥料輸出量が 1139.4 万トン（純 N、P₂O₅、K₂O 換算）に達し、世界最大の化学肥料輸出国の地位を守った。実物の輸出量では、硫安 865.9 万トン、DAP573.2 万トン、尿素 545.1 万トン、MAP253.0 万トン、重過石と過石 143.5 万トン、NPK 化成肥料 114.5 万トン、塩安 110.5 万トン、NP 化成肥料 103.3 万トン。
- * 中国税関の速報によれば、2021 年 7 月中国化学肥料輸出量 377 万トン、その内訳は硫安 110 万トン、尿素 24 万トン、DAP98 万トン、MAP68 万トン。一方、2021 年 7 月化学肥料輸入量 68 万トン、その内訳は塩化加里 54 万トン、NPK 化成肥料 13 万トン。
- * 8 月第 3 週の尿素国際相場が下落し続けている。これは 5 週連続の下落である。多くのメーカーと商社がインドの新しい尿素国際入札を期待しているが、その発表が 9 月上旬まで延期される可能性がある。東半球では中国尿素が前週の FOB440 ドル／トンから 415～420 ドル／トンまで下落し、中東のエジプトとアルジェリア産大粒尿素が FOB440 ドル／トン半ばに下落した。西半球ではブラジルのバイヤーは相場の下落を利用して、東ヨーロッパから 7～8 万トンの尿素を調達した結果、ロシアなどの FOB 価格が約 20 ドル／トン上昇した。この様子ではインドの新しい尿素国際入札が発表する前に尿素の国際相場が緩やかに下落しつつあるだろう。
- * 中国尿素価格が 8 月第 2 週から大幅に下落した。8 月 25 日の工場出荷価格が 8 月 2 日に比べて 200～400 人民元（30～60 ドル／トン）安くなっている。輸出についても FOB 価格が 7 月末の 470 ドル／トンから 8 月第 4 週の 420 ドル／トン未満まで 50 ドル／トンも下がっている。その理由は四つある。一つ目は生産量の回復である。7 月には多くの尿素メーカーが定修を行い、国内尿素生産量が 14 万トン／日まで減少したが、8 月中旬から生産再開により、生産量が 16 万トン／日に回復した。二つ目は国内尿素の非需要期に入り、秋肥の需要が少なく、来年春肥の需要が始まっていないので、高値の尿素を購入・備蓄する動機がない。三つ目は期待しているインドの新しい尿素国際

入札が延期となり、輸出により価格を維持する目論見が外れた。四つ目は中国政府の化学肥料輸出自粛の要請で、国内供給量が増えた。

- * アメリカの Mosaic 社はハリケーンによるりん酸肥料生産装置の被害で、生産量が約 30 万トン減少すると予測している。8 月 29 日にルイジアナ州に上陸したハリケーン「アイダ」は Faustina と Uncle Sam 工場に大きな被害を与え、その修理に 8~9 週間かかる予定されている。また、ハリケーンはミシシッピ川の船の航行に問題を引き起こし、Mosaic 社の生産に物流上のリスクをもたらす可能性もあるという。

- * 8 月末アメリカに上陸したハリケーン「アイダ」により、CF Industries 社と Nutrien 社のルイジアナ州にある尿素工場が一時閉鎖された影響で、アメリカの尿素価格が急騰した。FOB Nola 価格が 8 月第 3 週の約 430 ドル/トンから一気に 40 ドル/トン以上も高まり、9 年ぶりに FOB500 ドル/トンまで接近した。
その影響が 9 月第 1 週の尿素国際相場にも反映されている。エジプトの尿素価格が 20 ドル/トン上がり、FOB440 ドル/トンになり、中東湾岸の 9 月のデリバティブが以前の現物オフアーレベルを約 40 ドル/トンを上回って取引されている。

大手各社の営業業績

- * アメリカの窒素肥料メーカー CF Industries 社は 2021 年上半期の業績を公表した。アンモニア生産量が 8.6%減の 471.1 万トン、尿素生産量が 13.6%減の 215.2 万トン、尿素硝安液肥 (UAN) が 0.3%増の 331.7 万トン。販売価格の上昇で、売上高が 21.1%増の 26.4 億ドル、EBITDA が 25%増の 8.08 億ドル、純利益が 53.9%増の 3.97 億ドル。

- * カナダの Nutrien 社は 2021 年第 2 四半期と上半期 (1~6 月) の業績を公表した。加里肥料生産量 341.4 万トン (1~6 月 695 万トン)、販売量 362.1 万トン (1~6 月 677.8 万トン)、アンモニア生産量 149.4 万トン (1~6 月 294.1 万トン)、窒素肥料販売量 296.6 万トン (1~6 月 536.9 万トン)、りん酸肥料とリン酸製品販売量 58.6 万トン (1~6 月 128.8 万トン)、売上高 75.37 億ドル (1~6 月 105.09 億ドル)。連結業績では EBITDA が 22.15 億ドル (1~6 月 30.21 億ドル)、純利益 11.13 億ドル (1~6 月 12.46 億ドル)。

- * イスラエルの ICL 社は 2021 年第 2 四半期の業績を公表した。加里肥料の国際価格の高騰で、売上高が 34%増の 16.17 億ドル。

肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

- * ロシアの Acron 社は VelikyNovgorod にある 6 本尿素生産ラインの包括的な拡張工事を完了したと発表した。この拡張工事は合計 8,500 万ドルの費用をかけて、生産能力が 600 トン／日から 2050 トン／日に 3 倍以上にアップされ、年間 240 万トンとなり、ロシアとヨーロッパの最大尿素生産施設になった。
- * ロシアの Acron 社は Perm Krai にある Talitsky 加里鉍山プロジェクトの建設を加速し、2021～2022 年の投資額を 6000 万ドルから 2 億 2200 万ドルに増やし、2025 年に運転開始を試みることを発表した。また、当該加里鉍山の塩化加里生産能力を 200 万トンから 260 万トンに拡張する計画があるという。
- * 8 月 23 日、中国安徽省の昊源化工会社が年間生産能力 70 万トンの新しい尿素生産ラインの完成と稼働を発表した。既存の尿素生産ラインと合わせると、5500 トン／日の尿素を生産することができる。

その他

- * 中国国営企業 Asia—Potash International Investment 社は 2.7 億ドルでラオス Khammouan 州 Nongbok 県の塩化加里採掘権を入手することを発表した。これにより Asia—Potash 社はアジア最大の加里資源を所有する。Asia—Potash 社はすでに傘下の中農国際加里開発会社を通じて、ラオスに年間生産能力 100 万トンの塩化加里プロジェクトを実施している。
- * 日本の三井物産とアメリカの窒素肥料メーカー CF Industries 社は共同でアメリカでのブルーアンモニアプロジェクトの開発に関する共同調査に合意した。ブルーアンモニアとは、天然ガスなどの化石燃料から製造されたものであるが、製造時に排出される CO₂ を分離回収し、EOR（石油増進回収）や CCU（CO₂ 回収貯留）を利用することから、カーボンニュートラルなアンモニアである。
- * アメリカ NBC テレビの 8 月 9 日の報道によれば、アメリカバイデン大統領はベラルーシに新たな経済制裁を行なう大統領令にサインした。ベラルーシの加里メーカー BPC、ベラルーシオリンピック委員会及び 15 社ベラルーシ大統領と親密関係のある企業を制裁する内容である。
 同じ日にカナダ政府もベラルーシの重要な経済分野に制裁を行うと発表し、イギリス政府がベラルーシの加里肥料と石油製品の輸出を制裁し、ベラルーシ債券の購入とベラルーシに借款を提供することを禁じると発表した。

- * 8月6日、リトアニア政府はEUにリトアニア Klaipėda 港のベラルーシ加里肥料輸出をさらに強く制限する計画を提出した。ただし、ベラルーシ大統領はEUとリトアニアがベラルーシ加里肥料の輸出を妨害する場合は、輸出港を Klaipėda 港からロシアの港に変更する用意があると反撃した。

- * アメリカの国際貿易委員会（ITC）はロシアとトリニダード・トバゴから輸入される尿素硝安液肥（UAN）に対してアンチダンピング及び相殺関税調査の準備段階で肯定的な決定を発表した。ITCは、ロシアとトリニダードのUAN輸入がアメリカのUAN産業に重大な損害を与えるという合理的な兆候があることを発見したという決定である。アメリカの貿易法律では、国内産業への損害発見はアンチダンピングおよび相殺関税を課すための前提条件である。

ITCの決定に基づき、アメリカ商務省はロシアとトリニダードからのUAN輸入に対して独自の調査を継続する。最終の調査結果が肯定的である場合、ITCは最終的な傷害の決定を行う。この場合はロシアとトリニダードからUANに対して少なくとも5年間有効なアンチダンピングおよび相殺関税命令を発する。

- * リトアニア政府は12月アメリカがベラルーシに対する経済制裁が発効すると同時にベラルーシ産加里肥料の国内経由と輸出を完全に止める計画がEUに提出した。現在、ベラルーシ産加里肥料がリトアニア Klaipėda 港の取扱貨物の約1/3を占めている。ベラルーシ産加里肥料の輸出を完全に止めると、世界の加里肥料貿易に大きな影響を及ぼす。

- * 中国税関の統計データによれば、中国国内農業不振の影響で、2021年1～7月の穀物と食用油料作物の輸入量が急増している。1～7月の穀物輸入量が156.3%増の3982万トン（7月だけで596万トン）、大豆などの豆類輸入量が4.5%増の5934万トン（7月だけで886万トン）、食用油輸入量が21.7%増の662万トン（7月だけで83万トン）。この10数年間、中国はずっと世界最大の穀物と食用油料作物輸入国である。